

質問

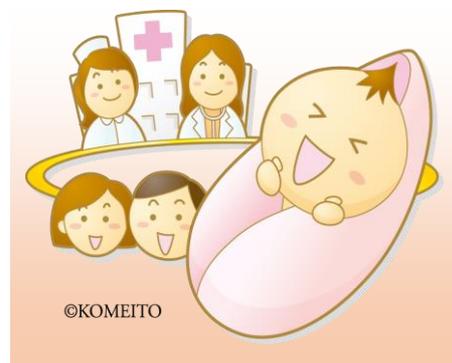
産後ケア事業の拡充について

令和元年度より、宿泊型産後ケアを開始しています、また、今年度よりサービス型の産後ケアを行っています。私がかねてから、本市は産科の病院が少ないことから、ニーズにこたえる為、近隣市の病院や産院にも協力を依頼するように要望していました。進捗状況を伺います。

答弁

市民の出産が比較的に多い、船橋市や浦安市医療機関や、助産院で産後ケアを利用できるように本年8月から4施設拡大し、10施設としました。今後も、利用者の利便性を考慮し、施設の拡大を図ってまいりたいと考えています。

今後、産前・産後サポート事業を導入し更なる支援体制強化を要望！



産後家庭ホームヘルプサービスの拡充！について

質問

家事や育児を行う事が困難な産後8週間までの産後家庭を対象にヘルパー派遣を行っています。今年になってヘルパーの人材確保が難しくサービスが行き届かないという課題が発生しています。今後の取り組みについて伺います。

答弁

ヘルパー派遣事業は、事業を開始してから9年がたちますが、今年は事業者数が8社から4社と半減し、利用希望があってもサービスの提供が出来ない家庭も増えております。事業を始めた頃と比べますと、市民ニーズも多様化しており、今後「産後ドゥーラ」などの活用や事業委託を行う際の、事業者要件や利用期間の拡大など産後家庭ホームヘルプサービスの更なる充実に向け努力して参ります。

妊娠中から産後1年までの利用期間及び事業者の拡大を強く要望！

質問

多胎育児の今後の支援について

昨年の12月議会にて質問致しました。その結果「多胎児サークル」の参加者へのアンケートの実施、産後家庭ホームヘルプサービス事業において、出産後1年までの利用期間の拡充と、利用時間を60時間まで拡大して頂いたことに対し高く評価致します。しかし、更に寄り添った支援が必要と考えるが今後の支援を伺います。

答弁

アンケートの結果を踏まえ、多胎児家庭が交流できる場の提供、外出時の負担軽減を図る支援、産後の身体的、精神的な負担の軽減をするための家事、育児支援の対応が必要と考えます。他市の先行事例を参考にしながら、具体的な手法や課題の整理等を行い対応して参ります。

特にコロナ禍の中移動手段は重要課題です。タクシーチケット等の助成事業を強く要望！